

きずな

2013年 5月30日

NO 934

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

しめやかに追悼 2,071柱の戦没者を

21日(火)午前10時から、井原市民会館で遺族の方々の参加の中、無宗教形式で「平成25年度井原市戦没者追悼式」がしめやかに且つ厳粛に行われました。

瀧本豊文井原市長が主催者を代表してあいさつ。宮地俊則井原市議会議長ら来賓の追悼のことばのあと、参加者全員が菊を献花して2,017柱の戦没者を追悼しました。昨年からホワイエへ戦没者の写真が掲示されていました。



瀧本市長が主催者代表あいさつ



宮地議長が追悼のことば



ホワイエに戦没者の写真を掲示



遺族ら参加者全員が献花

地区別戦没者数及び平成25年度追悼式参加連絡者数

地区名	井原	高屋	大江	稲倉	県主	木之子	荏原	西江原	青野	野上	美星	芳井	個人	計
戦没者(柱)	345	120	64	90	87	107	121	140	63	65	456	407	6	2071
参加予定者(名)	70	21	19	25	12	18	25	33	15	15	68	81	4	406

*井原地区は出部地区を含む *当日参加者443名(遺族360名、来賓46名、執行委員・係員37名)



歴史歪曲撤回せず 過去反省しないで未来はない

「侵略」の定義はないと主張し、日本の植民地支配と侵略を反省した「村山富市首相談話」を見直そうという安倍晋三首相、侵略戦争だったこと自体を否定した自民党の高市早苗政調会長、日本軍「慰安婦」は「必要だった」と公言する「維新の会」共同代表の橋下徹大阪市長—日本の侵略戦争の責任を否定する発言が相次ぎました。国際的な批判も受け、安倍首相も橋下氏もそれぞれ言い逃れに懸命ですが、見過ごせないのは発言そのものを撤回しないことです。発言を撤回しないのでは反省したことになりません。過去を反省しないで未来はありません。

あいまいにできない発言

「村山談話」の見直しを主張した安倍首相は、その後談話を「全体として引き継ぐ」と言い訳していますが、「侵略の定義は定まっていない」という発言は撤回せず、「村山談話」についても、日本が「国策を誤り」「植民地支配と侵略」を行ったという核心部分は確認しようとはしません。高市氏は、「村山談話」の「国策を誤り」の部分について「おかしい」と、侵略戦争だったことを否定した発言を撤回していません。

日本軍「慰安婦」は必要だったと公言した橋下氏も、マスメディアの「誤報」だったとか、日本人の「読解力に問題がある」などと責任を転嫁していますが、「必要だった」という発言そのものは撤回していません。日本だけが批判されるのは「強制」だったと誤解されているからだと問題をすり替え、「河野洋平官房長官談話」の見直しに固執しています。「維新の会」のなかでは、もう一人の共同代表の石原慎太郎氏が日本の戦争は「侵略戦争でなかった」と認めるべきだとけしかけるありさまです。



一連の歴史をゆがめる発言が、発言の取り消しも謝罪も行わず、あれこれ言い逃れるだけで批判を免れられるはずのないものなのは、明らかです。

日本が朝鮮半島から中国大陆、さらにはアジア各地へと戦線を拡大した戦争が、領土と権益の拡大をねらった侵略戦争そのものだったことは明白です。国連は総会決議で、「侵略とは、国家による他の国家の主権、領土保全若（も）しくは政治的独立に対する…武力の行使」と定めています。日本は、日本の戦争が「世界征服」をねらった侵略戦争だったことを弾劾したポツダム宣言を全面的に受け入れて降伏し、講和条約や平和条約を結んで国際社会に参加しました。

にもかかわらず歴史を歪（わい）曲（きょく）し、あの戦争は侵略戦争ではなかったなどといはるのは、文字通り国際社会で孤立を招くものです。侵略戦争を美化する発言は、「政府の行為」による戦争の惨禍を繰り返さないと憲法前文に明記した、日本国民の決意にも背くものです。

口火切った首相の責任

「村山談話」や「河野談話」の見直しを求め、一連の歴史歪曲発言の口火を切った安倍首相の責任はきわめて重大です。

日本とともに第2次世界大戦で侵略国となったドイツのワイツゼッカー元大統領はかつて「過去に目を閉ざすものは結局のところ現在にも盲目となります」と演説しました。過去を反省しない安倍政権が、現在を正しく見て未来を切り開くことなどできるはずはなく、その責任がきびしく問われるのは当然といわねばなりません。

しんぶん赤旗「主張」より

井原市政に対するご意見・ご要望をお寄せください。

4月の市議選後、市議会は新体制でスタートしました。市議会6月定例会は6月10日(月)開会予定です。現在、一般質問の準備をしています。6月議会で連続97回目の質問になります。引き続き、皆様のご意見・ご要望が1つでも多く実現するよう、奮闘したいと考えています。皆様の井原市政に対するご意見・ご要望をお近くの党員か、下記の電話・FAX等にお気軽にお寄せください。

日本共産党後援会事務所 TEL 62-6200 FAX 62-6209
森本ふみお宅 TEL 62-6061 FAX 62-6081

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://m@okajcp.com>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください。(月額 日刊紙3,400円 日曜版800円)